

公的医療機関が地域において担う役割等について

1 地域医療構想調整会議における具体的な議論の進め方（国方針）

- 「まずは、地域における救急医療、小児医療、周産期医療等の政策医療を担う中心
的な医療機関から、その役割の明確化を図り、その他の医療機関については、中心的
な医療機関が担わない機能や、中心的な医療機関との連携等を踏まえ、役割の明確化
を図ること」とされています。（H29.8.4 都道府県知事あて 医政局長通知）
- まず役割の明確化を図るべきとされた病院のうち、公立病院については、総務省が
平成28年度までの策定を求めている「新公立病院改革プラン」を、その他の病院に
ついては、新たに策定が求められた「公的医療機関等2025プラン」をもとに、
調整会議で具体的な議論を行うこととされました。

対象となる病院	策定するプラン
公立病院（病院事業によるもの）	新公立病院改革プラン
公立病院（病院事業によらないもの）	公的医療機関等2025プラン
日本赤十字社の開設する病院	
（社福）恩賜財団済生会の開設する病院	
（独）地域医療機能推進機構の開設する病院	
（独）国立病院機構の開設する病院	
（独）労働者健康安全機構の開設する病院	
特定機能病院	
地域医療支援病院	

2 千葉県における対応

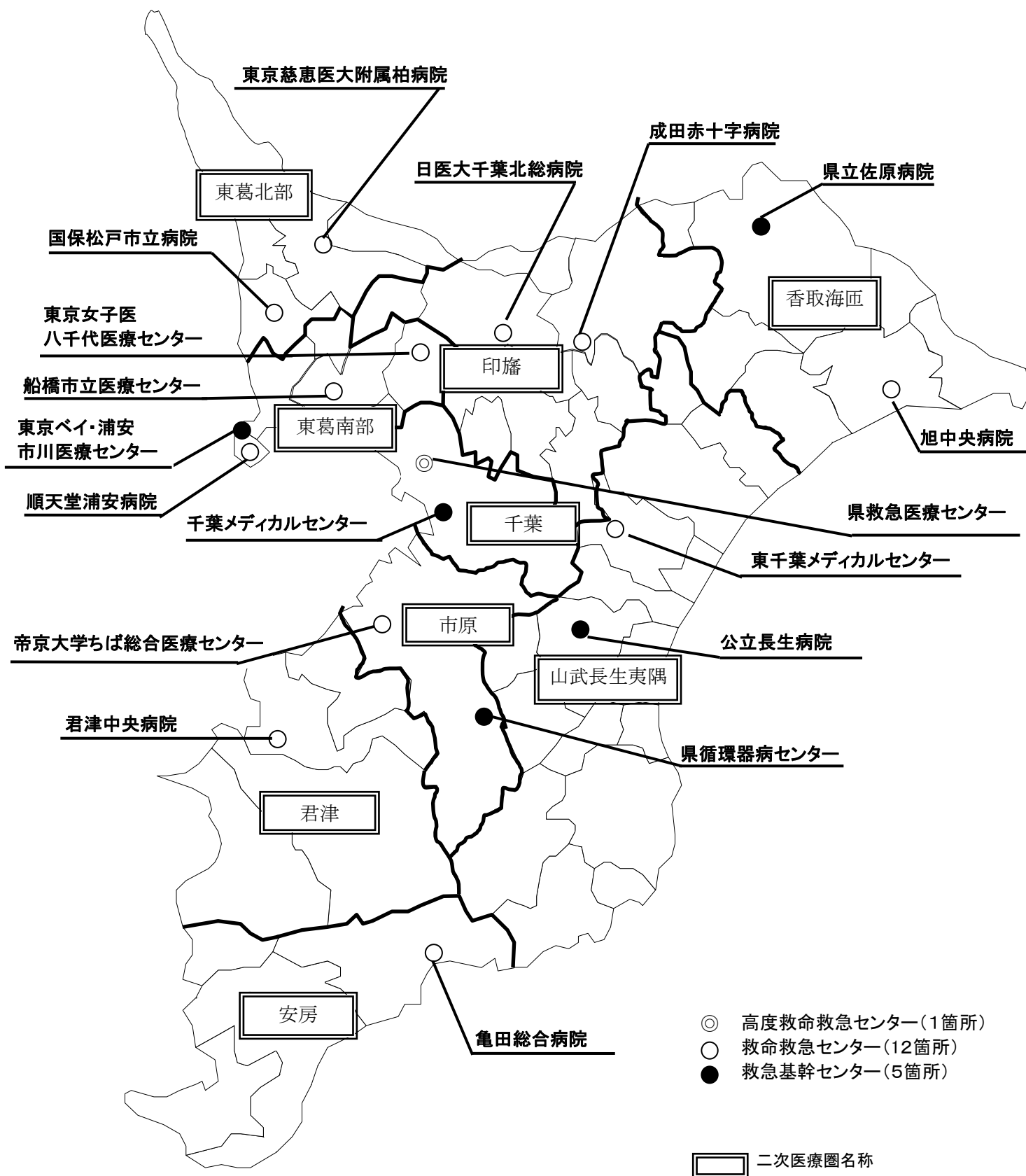
上記病院の開設者に、プランの策定とその概要資料の提出を依頼しました。

なお、上記に該当しない病院のうち、救急医療、小児医療及び周産期医療の分野で
重要な役割を果たしている次の医療機関に対しても、地域において担うべき役割等
に対する認識を示した資料の作成を依頼しました。

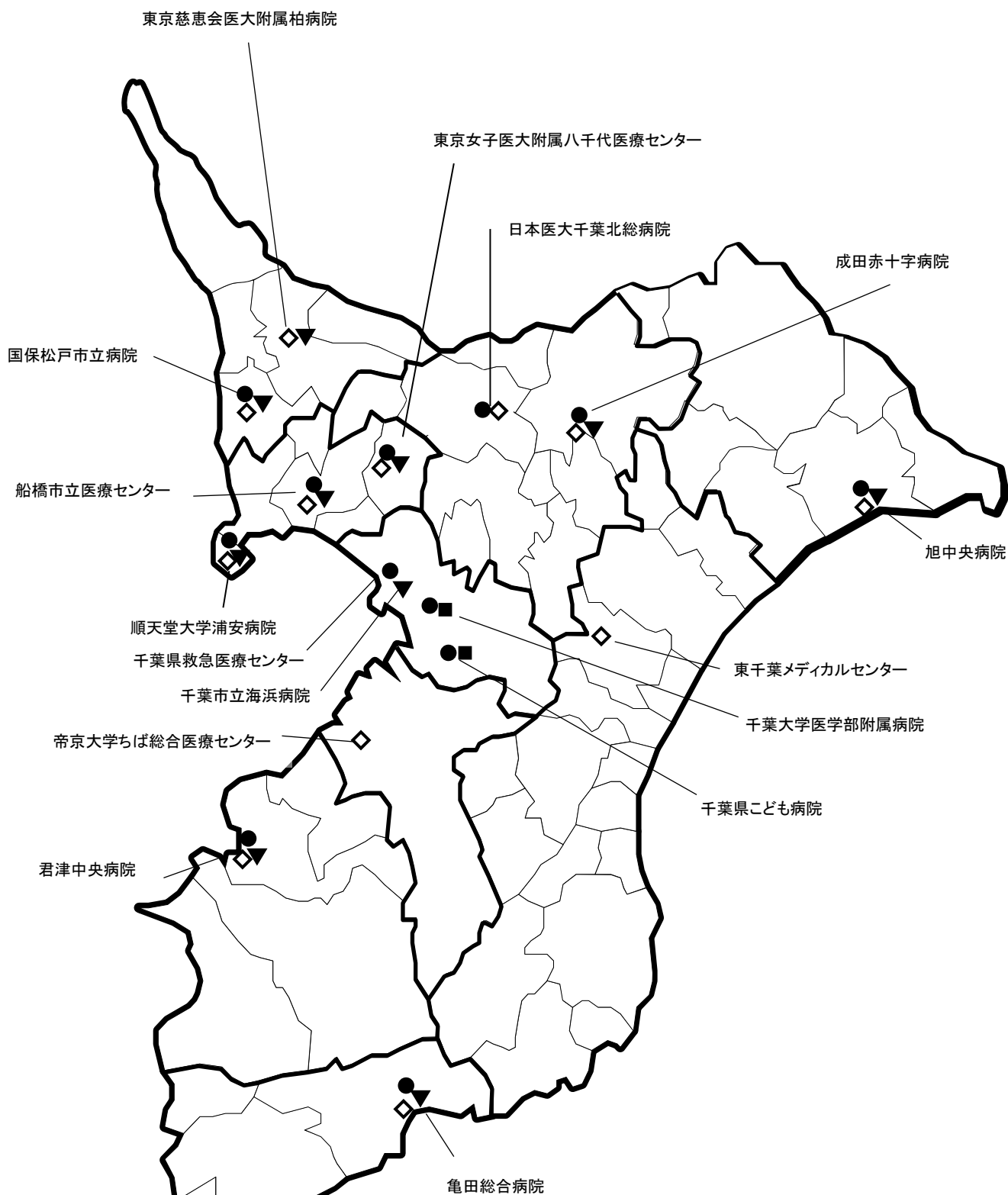
救急医療関係	救命救急センター又は救急基幹センターを有する病院
小児医療関係	現行の保健医療計画において全県（複数圏域）対応型小児医療連 携拠点病院に位置付けられている病院
周産期医療関係	周産期母子医療センターを有する病院

また、施設の新設や建替等の予定のある場合には、その概要のわかる資料の提出を
併せて依頼しました。

千葉県内の救命救急センター及び救急基幹センター



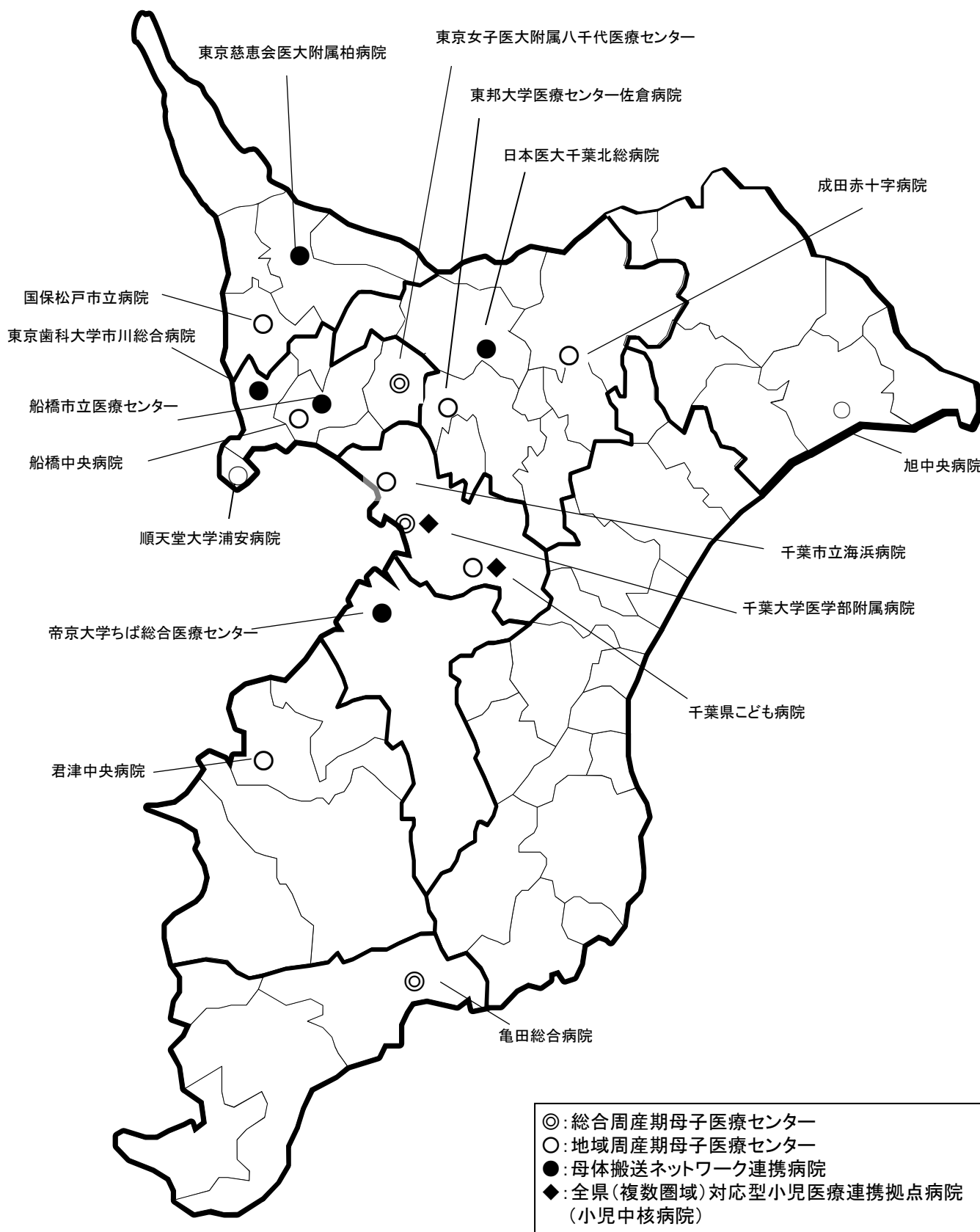
千葉県内の小児医療体制



- : 全県(複数県域)対応型小児医療連携拠点病院(小児中核病院)
- ◇: 救命救急センター(千葉県救急医療センターを除く)
- : 小児救命集中治療ネットワーク連携病院
- ▼: 地域小児科センター

千葉県内の周産期母子医療センター及び母体搬送ネットワーク連携病院

(H29. 4. 1 現在)



公的医療機関が地域において担う役割等について

施設名	地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター 東千葉メディカルセンター	地方独立行政法人さんむ医療センター	大網白里市立国保大網病院																																							
プランの区分	新公立病院改革プラン	新公立病院改革プラン	新公立病院改革プラン																																							
許可病床数(床)	一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計	一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計	一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計																								
	開設許可	314				314	開設許可	312				312	開設許可	99				99																								
	使用許可	314				314	使用許可	312				312	使用許可	99				99																								
H29病床機能報告の報告内容(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	計																								
	H29.7.1時点	20	225			69	314	H29.7.1時点	220	92		312	H29.7.1時点	99				99																								
	6年後	20	294				314	6年後	228	84		312	6年後	99				99																								
診療科※ ●:入院対応 ○:外来のみ	内	心内	精	神	神内	呼	消	胃	循	ア	リウ	小	外	整	内	心内	精	神	神内	呼	消	胃	循	ア	リウ	小	外	整	内	心内	精	神	神内	呼	消	胃	循	ア	リウ	小	外	整
	●				●	●	●	●	●			○	●	●	●	●				●	●			●	●	●	●				○	○	○		○		○		●	●		
	形	美	脳	呼外	心	小外	皮泌	皮	泌	性	肛	産婦	産	婦	形	美	脳	呼外	心	小外	皮泌	皮	泌	性	肛	産婦	産	婦	形	美	脳	呼外	心	小外	皮泌	皮	泌	性	肛	産婦	産	婦
	●		●		●			○				●			○		○		●	○	○			●			○		○		○		○									
眼	耳	気	リハ	放	菌	矯歯	小菌	菌口	麻	その他				眼	耳	気	リハ	放	菌	矯歯	小菌	菌口	麻	その他			眼	耳	気	リハ	放	菌	矯歯	小菌	菌口	麻	その他					
○			○	○				●						○						●	○	○	○	○	○		○			●												
救急医療	救命救急センター(3次)	2次救急医療機関	2次救急医療機関																																							
小児医療 ○:対応している	外来診療(平日・日中)	○	外来診療(休日・夜間)*当番制等含む	○	外来診療(平日・日中)	○	外来診療(休日・夜間)*当番制等含む	○	外来診療(平日・日中)		○	外来診療(休日・夜間)*当番制等含む	○																													
	小児二次救急		小児三次救急		小児二次救急		小児三次救急		小児二次救急			小児三次救急																														
周産期医療	分娩(取り扱っている場合:○)	○	NICUの病床数		分娩(取り扱っている場合:○)	○	NICUの病床数		分娩(取り扱っている場合:○)			NICUの病床数																														
	MFICUの病床数		GCUの病床数		MFICUの病床数		GCUの病床数		MFICUの病床数			GCUの病床数																														
地域において担うべき役割	<p>(1)地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割 東千葉メディカルセンター(以下「メディカルセンター」)が属する山武長生夷隅区域は、千葉、印旛、香取海匝、安房、市原等の隣接区域との入院患者の流出入が多くみられる区域である。また、病床機能報告による病床機能ごとの病床数と平成37年(2025年)の必要病床数を比較すると、急性期及び慢性期は過剰となり、高度急性期及び回復期は不足することが見込まれている。</p> <p>メディカルセンターは、山武長生夷隅区域の中核病院として、救急医療・急性期医療を核とした高度な専門医療を提供し、この医療圏における地域完結型医療を推進する。この役割を持続的に実現していくため、経営改善を進め、早急に安定した経営基盤を確立するとともに、地域医療機関との役割分担を明確にし、中核病院としての機能を定着させる。</p> <p>(2)地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割 東金市が構築に取り組む地域包括ケアシステムを構成する組織として、紹介された患者の受入と患者に適した地域医療機関等への逆紹介を推進するとともに、地域医療連携室の設置や千葉県が推進する循環型地域医療連携システム(地域医療連携パス)の活用を図ることで、患者が急性期から回復まで切れ目のない医療を受けられる体制を整備する。</p> <p>また、オープンカンファレンス(地域医療機関等が参加する研修及び研究会)を開催し、各診療科の医師と地域医療機関等の医師が顔の見える連携を図るとともに、職員が地域医療機関等を積極的に訪問等し、地域医療機関等との信頼関係の構築を図る。</p>	<p>(1)地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割(対象期間末における具体的な将来像) 平成32年度における当院の目標とする稼働病床数は、一般急性期を165床、地域包括ケア病床40床、回復期リハビリ病床40床、緩和ケア病床20床、人間ドック10床を目標とする。地域医療構想を踏まえ、一般急性期病床を減少させて、減とした病床を地域包括病床に転換を図っていく。また訪問看護ステーションを介して在宅復帰へと継続していく。(新公立病院改革プランより転記)</p>	<p>(1)地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割 十分な医師・医療職を確保し、当医療圏の中核病院であり高度急性期機能に需要が高まる東千葉メディカルセンターと密な連携を取り、急性期から回復期を中心に、慢性期及び終末期まで幅広く、同センターの後方支援をする役割を果たすことが求められると考えられる。</p> <p>(2)地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割 当院が果たす役割としては、循環型地域医療連携システムにおける対応医療機関としての側面、具体的には、各種がん対応、回復期等リハビリテーション対応、糖尿病対応などに加え、当院の病床規模に適するといえる、かかりつけ医的な機能としての役割が求められると考えられます。</p> <p>また、在宅復帰を目標とした地域包括ケア病床の有効な活用により、高度急性期から在宅をつなぐハブ的な役割として地域包括ケアシステムの構築に貢献することも重要と考えます。</p>																																							
再編・ネットワーク化の取組や今後見直すべき点等	自治体に取り組む地域包括ケアシステムなどによる機能分化を推進するため、地域医療機関との役割分担を明確化し医療圏の中核病院としての機能を定着化させる。	当該病院に係る再編・ネットワーク化計画の概要 現時点での具体的な計画は、ありません。(新公立病院改革プランより転記)	当院が位置する山武地域においては、公立3病院(県立東金病院・組合立国保成東病院・町立国保大網病院)の再編を含めた医療センター計画が進められていましたが、諸般の事情により白紙となり、また平成20年度に進められた新医療センター計画についても当院を運営する大網白里市が離脱し、東千葉メディカルセンターが開院した経緯があります。 そのような経緯を踏まえつつ、当面は、東千葉メディカルセンターを中心に近隣病院と紹介患者の受け入れなどを通じた密なる地域医療連携に主眼を置き、今後の患者の動向の推移等を慎重に見極める必要があります。																																							

※ 診療科名の表記について 凡例 略号:診療科名

内:内科、心内:心療内科、精:精神科、神:神経科(*)、神内:神経内科、呼:呼吸器科(*)、消:消化器科(*)、胃:胃腸科(*)、循:循環器科(*)、ア:アレルギー科、リウ:リウマチ科、小:小児科、外:外科、整:整形外科、形:形成外科、美:美容外科、脳:脳神経外科、呼外:呼吸器科、心:心臓血管外科、小外:小児外科、皮泌:皮膚泌尿器科(*)、皮:皮膚科、泌:泌尿器科、性:性病科(*)、肛:肛門科(*)、産婦:産婦人科、産:産科、婦:婦人科、眼:眼科、耳:耳鼻いんこう科、気:気管食道科(*)、リハ:リハビリテーション科、放:放射線科、菌:菌科、矯歯:矯正歯科、小菌:小児菌科、菌口:菌科口腔外科、麻:麻酔科(*平成20年4月以降標榜できない診療科目であるが経過措置により従前の診療科目を標榜している場合)

